

大悲山（小高町泉沢地内）

蛇巻山

大悲山はJＲ常磐線小高駅から南方へ約三キロメートル、旧国道の西側三百メートルほどのところで、低い丘陵端の岩に北から観音堂、

大蛇が七曲り半したという山で、釘跡だと伝えるこんせきがあります。

阿弥陀堂、薬師堂とがんとを設けて磨崖仏があります。この地を大悲山と呼び、相馬氏の流れをくむ大悲山氏が中世ここを本拠としていました。

昭和五年に「大悲山の磨崖仏」は国の史跡に指定されています。

そしてこの大悲山に相馬地方で最も有名とされる大蛇伝説が古くから語り継がれているのです。